

【人権協だより】

問合せ先 貝塚市人権啓発推進委員協議会
事務局(人権政策課内) ☎072-433-7160

考えよう
相手の気持ち
未来へつなげよう
違いを認め合う心

貝塚市人権啓発推進委員協議会は、市民一人ひとりの人権意識の確立と高揚を図ることを目的に設立され、人権尊重のまちづくりを進める啓発活動を行っています。

人権を守る市民のつどい

さらなる一步を踏み出そう!

昨年12月にシンガーソングライターの立木早絵(たてきさえ)さんをお招きして「人権を守る市民のつどい」を開催しました。2歳の時病気が原因で失明された立木さんは、16歳の時から日本テレビの「24時間テレビ」の企画に4年連続で参加され、「津軽海峡縦断リレー」「トライアスロン」「アフリカ最高峰キリマンジャロ登頂」に成功しています。講演では、心のバリアをなくし、みんなが住みよい社会をつくってこうと語りかけられ、その後自作曲の弾き語りを披露してくださいました。会場は終始温かな雰囲気に包まれ、静かな感動がひろがりました。



立木 早絵さんのメッセージ

私は今までさまざまなことにチャレンジしてきました。誰にでも苦手なことがあるように、目が不自由なことを「見るのが苦手」ととらえるようにしています。生きている限り私たちには限りない可能性があると思います。目標や夢を持ち続け、人生のさらなる一步を踏み出していければと思います。

人権協 活動日記

8月8日(木)

今年の人権研修会は、「人権について幅広く学び、大阪の文化にもふれる一日」というテーマで「リパティおおさか」(大阪人権博物館)を見学しました。館内は「いのち・輝き」「共に生きる社会をつくる」「夢・未来」の3つのゾーンに分かれ、さまざまな資料の展示や体験の場が提供され、新たな気づきや発見とともに、幅広く人権について理解を深めました。

10月4日(金)~31日(木)

「じんけん入門セミナー」(全6回)を開催しました。「高齢者と家族の人権をまもるために」「ハンセン病問題はまだ終わっていない」などのテーマで施設見学などを行いました。さまざまな問題の解決につなげるために、一人ひとりが無理のない範囲で何かの行動をおこしていけたら、と思いました。



性の多様性を前提とした社会に

5月に「憲法週間市民のつどい」を開催しました。今回はNPO法人「虹色ダイバーシティ」代表の村木真紀さんを迎え、「知っておきたいLGBTの性の多様性を前提とした社会に」というテーマでお話しいただきました。

法人名に使われている「虹」は性の多様性のシンボルで、「性的マイノリティをサポートします」というしるしだそうです。また、「ダイバーシティ」は「多様性」と訳される言葉で、いろいろな人がいることが、地域や職場の力になり、すべての人が生きやすい社会づくりにつながるという意味があります。

今回はさまざまな性のありかたが存在することを当たり前のこととし、違いを活力とした社会についてお話しいただきました。性的マイノリティの人が直面する困難や、それに対し私たち一人ひとりが自分ごととしてどのように取り組むのか、また性的マイノリティに関する最新の世界的な情勢はどのようになっているのか、などにもふれていただきました。そして、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりのためにマイノリティの目線を活かそう、としめくくられました。参加いただいたかたはわかりやすいお話に引き込まれていました。

